

平成25年度決算に係る

定期監査調書

平成26年2月

農林総合研究所中小家畜試験場

## 目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1頁
3	組織及び業務調べ	1頁
4	職員の定員、現員調べ	1頁
5	役付職員の調べ	1頁
6	主な事業に関する調べ	2頁
7	決算調書(総括表)	6頁
8	事業別実施状況調べ	6頁
9	予備費の充用調べ	6頁
10	繰越関係調べ	6頁
	(1) 継続費滞欠繰越調べ	
	(2) 繰越明許費調べ	
	(3) 事故繰越調べ	
11	収入証紙取扱額調べ	6頁
12	収入事務処理状況調べ	6頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 寄付金	
	(6) 諸収入	
	(7) 現金の取扱状況	
13	税外収入未済額調べ	8頁
14	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	8頁
15	税外収入不納欠損額調べ	8頁
16	債務負担行為の状況調べ	9頁
17	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	9頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(2-2) 補助金(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
	(4-2) 委託料(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)	
18	工事請負費調べ	12頁
18-2	工事請負費調べ(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)	12頁
19	財産に関する調べ	12頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
20	財産の貸付及び使用許可調べ	17頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの)	
21	借受不動産明細調べ	17頁
22	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	18頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
23	自動車(二輪を除く)の管理状況調べ	18頁
24	寄附物件の受納状況調べ	19頁
25	備品の処分状況調べ	19頁
26	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	19頁
27	貸付金等状況調べ	19頁
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
28	事業別予算執行状況調べ	20頁
29	農業機械の管理状況	21頁
30	生産物(品)に関する調べ	22頁
31	試験研究調査事業別実施状況調べ	23頁
○	意見、要望等	27頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 指摘事項 該当なし
- (2) 監査意見 該当なし
- (3) 決算審査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況  
該当なし

3 組織及び業務調べ

課名	係(担当)名	課の主な所掌事務
中小家畜試験場	総務担当	庶務に関すること
	養豚研究室	(1) 畜産経営技術の改善に関すること。 (2) 豚の改良繁殖、管理、飼育方法、育成、肥育及び飼料に関すること。 (3) 豚の人工授精及び生物工学に関すること。 (4) 家畜の経済能力検定に関すること。 (5) その他畜産振興に関すること。
	環境・養鶏研究室	(1) 畜産経営技術の改善に関すること。 (2) 鶏の改良繁殖、管理、飼育方法、育成、肥育及び飼料に関すること。 (3) 家畜に係る環境の改善に関すること。 (4) 種鶏の種卵及び地どりのひな配布に関すること。

4 職員の定員、現員調べ

(平成26年2月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	当該年度	25.4.1現在	当該年度	25.4.1現在	当該年度	25.4.1現在	当該年度	25.4.1現在	
定員	0	0	10	10	4	4	14	14	
現員	0	0	9	9	5	5	14	14	
過不足(Δ)	0	0	Δ 1	Δ 1	1	1	0	0	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	1	1	0	0	6	6	7	7	畜産技術員 6・事務 1

5 役付職員の調べ

(平成26年2月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
場長	松田 義人	2	10	
養豚研究室長	千代 隆之	2	10	
環境・養鶏研究室長	澤 英夫	2	10	(通算4年)

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要
<p>「鳥取地どりピヨ」の改良試験</p> <p>決算(見込)額 8,488千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 7,063千円 財産収入 1,425千円</p> <p>○将来ビジョン</p> <p>素材が良く、安全、安心して美味しい食の魅力を提供する「食のみやこ鳥取県」の推進と、それにふさわしい農林水産業</p>	<p style="text-align: center;"><b>「鳥取地どりピヨ」の改良試験の流れ</b></p> <p style="text-align: center;">独立行政法人 家畜改良センター</p> <p>(1) 交雑種鶏の血統固定化試験 (H16-23 第1選抜, H24-27 第2選抜)</p> <p>原種鶏の導入 (H16年度)</p> <p>シャモ ♂      ロッド・アイン・レッド ♀</p> <p>交雑種鶏 ♂</p> <p>鳥取シャモ (仮称)</p> <p>(2) 旨み向上試験 (H23-26 交雑種鶏)</p> <p>H22年度よりヒナ生産へ利用 H27年度 完成</p> <p>交雑種鶏 ♂      白色プリマロッカ ♀</p> <p>選定した白色プリマロッカを ヒナ生産に使用</p> <p>(2) 旨み向上試験 (H27-28 ピヨ)</p> <p>(3) ヒナ生産試験 (H21~)</p> <p>ヒナの生産、供給 年間12, 530羽予定計画 (H24年度 年間9, 150羽)</p> <p>「鳥取地どりピヨ」の元となる種鶏は、全て県外導入に依存しており、生産性や品質の安定性等に問題が残っているため、鳥取県独自の地どり種鶏群(雄系)への改良を図る。あわせて、「鳥取地どりピヨ」の差別化を図るため、旨みを開発する旨み(アラキドン酸)向上試験を行う。また、民間の旧山陰食鶏農協の地どり生産休止に伴い、地どりのヒナ生産、出荷も休止され、当场がヒナ生産を緊急的に開始した。</p>

	<p style="text-align: center;">I 「鳥取地どりピヨ」の種鶏改良に係る交雑種鶏の血統固定化試験(H16-27)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的 鳥取県独自の種鶏群を開発するために(全体目的に既述)、平成16年度に基礎鶏4系統(雄:シャモ、雌:ロートアイラントレット、各2系統)を導入、交配して得られた交雑種鶏を更に累代交配することにより、品質と均一性の高い種鶏群の造成を行い、平成27年度に県内生産者へ供給する。産卵率、体重、モモ肉重量を主な改良項目として育種改良を行っている。食の安全安心・ブランド指向の消費者ニーズの高まりを受けて、地どりらしさを表現でき、かつ「鳥取地どりピヨ」と見て分かる独特の風貌作出のため、従来単冠(*1)であった地どりのとさかをシャモのとさかである三枚冠(小さなとさかが3列に並んだとさか)へ固定する方向で進んでいる。 *1:単冠とは、プロイラーで見られる大きな1枚のとさか。</p> <p>(イ)事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育成、選抜、交配を従前のとおり行った。</li> </ul> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成した「交配選抜プログラム」を活用し、増体を改善した。</li> <li>・高能力種鶏群を作成し、制限給餌を実施、ひな生産用の雄として供給した。</li> <li>・種卵のツツキ等の悪癖防止のため、デビークを実施し、影響を調査した。</li> <li>・死亡原因の半数を占める脂肪肝出血性症候群の調査を行った(臨時的調査研究)。</li> </ul> <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第9世代鶏作出に当たり、作成した交配プログラムにより、近交度上昇を1%以下に抑え、体重を最大となるように設定した。導入鶏と同水準の体重とすることができた。</li> </ul> <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取地どりピヨの体重の性差(大きさの違い)が問題となっている。</li> <li>・単冠の鶏がまだ生産される。</li> </ul>
	<p style="text-align: center;">II 「鳥取地どりピヨ」の旨み(アラキドン酸)向上試験(H23-H28)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的 脂肪酸の一種であるアラキドン酸が旨みに関係することが分かってきた。そこで、育種により筋肉中のアラキドン酸を向上させ、地どり肉のさらなる差別化を図るために、旨み開発を行う。</p> <p>(イ)事業の実施状況</p> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・肉質に関連する筋線維の検査の一部を外部機関で行った(分析中)。</li> </ul> <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第8世代兄弟の肉の脂肪酸組成の基礎的データが収集できた。</li> <li>・アラキドン酸組成は性より筋肉内脂肪量に左右されることが判明した。</li> </ul> <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・GSR(ピヨの父親)の改良は行っているが、交配により効果は半分となるので、飼料や飼育方法での改善を検討する必要がある。</li> </ul>

Ⅲ 「鳥取地どりピヨ」のヒナ生産試験(H21-)	
	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的 旧山陰食鶏農協による地どり生産休止により、農家への「鳥取地どりピヨ」のヒナ供給が停止したため、「鳥取地どりピヨ」のヒナを生産し、農家へ供給することにより、安定的な農家経営を支援する。</p> <p>(イ)事業の実施状況 ・ヒナ生産のための親鶏を作出、導入し、種鶏として使用するため、制限給餌等をしながら飼育した。 ・ヒナ出荷に向けて計画的に集卵、貯卵を行い、定期的なふ卵、孵化作業を行った。</p> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 ・疾病予防策を徹底し、罹患鶏の早期発見・早期ケアに努め死亡率を低減を図った。</p> <p>ウ 成果 ・疾病予防策を徹底し、罹患鶏の早期発見・早期ケアに努め死亡率の低減が出来た。 ・7.29%(H24年間)→3.58%(H25.12月末現在) ・ヒナ供給:年間 12,530羽</p> <p>エ 課題 ・近年新規飼養農家も出、配布要望羽数も増大している中で、試験場の生産能力にも限界があることや労力の増大で試験研究の実施にも影響があることから早期にヒナ生産の民間への移行を図る必要がある。</p>
事業名	概 要
<p>光触媒技術等を活用した畜舎脱臭及び汚水処理試験 決算(見込)額 783千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 783千円</p> <p>○将来ビジョン 自然環境と調和した自然循環システムの開発</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)背景・目的 畜舎から発生する悪臭の除去及び簡易処理施設から排出される処理水中のCOD(化学的酸素要求量)、色度を低減させるため、光触媒等を活用した脱臭技術及び汚水処理技術を開発する。</p> <p>(イ)事業の実施状況 ・汚水処理試験では、酸化チタン及び黒ぼく土より脱色効果が持続する靱殻燻炭によるろ過試験を実施し、養豚農家での実証試験を実施した。 ・酸化チタンを活用した畜舎脱臭試験を実施した。 ・畜舎周囲の簡易な施設(除塵ネット、水噴霧装置等)による畜舎臭気低減効果を検討した。</p> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 ・汚水処理試験では靱殻燻炭と黒ぼく土のCOD及び色の除去効果とその持続性を比較し、また、地域資源である靱殻燻炭の有効活用とろ過資材としての設置労力の軽減を図った。 ・靱殻燻炭の炭化条件や市販製品により脱色性能が異なるので、実験室内で炭化温度及び炭化時間を変化させ、脱色効果の違いを解明する。 ・畜舎脱臭試験では、酸化チタンが高価であり、畜産での活用は困難であると考えられたため、畜舎周囲の簡易な施設による臭気低減効果を検討した。</p> <p>ウ 成果 ・汚水浄化槽処理水の脱色効果は黒ボク土より脱色効果が持続し、実験室内試験では容積6倍量で色度は67%(黒ぼく土20%)、CODは65%(黒ぼく土5%)を除去し、20倍量で色度は36%、CODは24%除去した。 ・実証試験では設置から3ヶ月後のCODの除去効果は持続しなかったが、脱色効果は51~54%と効果が持続した。 ・脱色の能力である吸着性能は靱殻の炭化条件により異なり、700~800℃の炭化条件が吸着が高く、炭化時間は15分より60分が吸着性能が高く、時間が長くなるほど吸着性能が高まった。 ・酸化チタンを担持したネットを鶏舎内に張り、紫外線を当てることにより鶏舎内のアンモニア濃度が60%除去できた。 ・豚舎換気孔を覆うように舎外側にネットを2重に張り、水噴霧を行うことによりアンモニアを50%以上除去でき、濃度を1ppm以下に抑えることが可能であった。</p> <p>エ 課題 ・靱殻燻炭は脱色効果は持続するが、CODの吸着効果は持続しないため、CODあるいは窒素等の吸着向上をねらいとして、他の資材や処理との組み合わせによる検討が必要である。 ・畜舎臭気低減試験では、ある程度効果が認められたが、酸化チタン担持触媒が非常に高価であるため現場での適応が困難であると考えられる。今後は、より低コストで現場での適応が可能である、畜舎周囲の簡易な施設による畜舎臭気低減技術の開発を行う。</p>

事業名	概要
<p>鳥取県産オリジナル高品質豚開発試験</p> <p>決算額 12,135千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 6,653千円 財産収入 5,481千円 その他 1千円</p> <p>○将来ビジョン 素材が良く、安全、安心で美味しい食の魅力を提供する「食のみやこ鳥取県」の推進と、それにふさわしい農林水産業</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的 近年、県内の卸売業者や飲食店から高付加価値のブランド豚作出に対する強い要望がある。平成21年度に肉質に優れた「大山赤ぶた」(デュロック種:D)の系統が完成したが、これに黒豚(バークシャー種:B)を交配して高品質でオリジナル性の高い鳥取県独自の特産豚「大山ルビー」(DB)を開発し、養豚農家の所得向上を図る。具体的には、産肉性及び肉質を改良するため、バークシャー種の系統造成を行うとともに、DB種の肥育試験を行い食味向上を図る。</p> <p>(イ)事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度は第2世代が平成25年5月より、分娩を開始。生産された子豚(3世代目)は遺伝的能力をもとに選抜を行い、平成25年3月から系統維持に向け交配予定。</li> <li>・選抜にあたっては背脂肪厚、筋束の数及びオレイン酸含量の育種価を算出し行った。</li> <li>・肥育試験は、肉質改良のためDB種で飼料米及びオクタン酸の添加試験を実施した。</li> </ul> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・系統造成は特に背脂肪厚の改良に重点を置いた。</li> <li>・飼料米肥育試験は、コスト削減のため、粳付きの飼料米を粉碎した区と、玄米粒のまま給与する区を設けた。</li> </ul> <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・系統造成は主要改良形質について選抜し、特に背脂肪厚が改良された。</li> <li>・飼料米添加試験では粳付き飼料米及び玄米粒を20%添加しても発育及び食味に悪影響はないことが確認され、コスト削減が可能となった。</li> <li>・オクタン酸添加試験は発育改善効果が見られ、食味に影響すると言われるオレイン酸が増加した。</li> </ul> <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度でバークシャー種の系統造成が終了し、系統が完成するが、今後は計画的な交配を実施し、血縁係数の上昇を最小限に抑える必要がある。</li> <li>・飼料米による肥育技術は、普及にあたり、飼料米の調達及び配合方法を検討する必要がある。</li> </ul>

- 7 決算調書 別途提出
- 8 事業別実施状況調べ 別途提出
- 9 予備費の充用調べ
- 10 繰越関係調べ  
 (1) 繰越費逐次繰越調べ 該当なし  
 (2) 繰越明許費調べ 該当なし  
 (3) 事故繰越調べ 該当なし
- 11 収入証紙取扱額調べ 該当なし
- 12 収入事務処理状況調べ  
 (1) 分担金及び負担金 該当なし

(2) 使用料

(単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
行政財産使用料	行政財産使用料	電力	1	1,870	1,870	0	0	鳥取県行政財産使用料条例	
		電気通信	2	720	720	0	0	鳥取県行政財産使用料条例	
		計(節)	3	2,590	2,590	0	0		
	目計	3	2,590	2,590	0	0			
	合計	3	2,590	2,590	0	0			

- (3) 手数料 該当なし



## (4) 財産収入

(単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
財産貸付収入	財産貸付収入	自動販売機	1	364	364	0	0	公有財産取扱要領	
		計(節)	1	364	364	0	0		
生産物売払収入	生産物売払収入	精液	104	905,100	895,650	0	9,450	生産品事務取扱要領	納期未到来
		豚売払	128	8,478,023	7,915,229	0	562,794	"	納期未到来
		ヒナ	32	835,130	814,230	0	20,900	"	納期未到来
		計(節)	264	10,218,253	9,625,109	0	593,144		
家畜類売払収入	家畜類売払収入	豚売払	21	500,271	500,271	0	0	生産品事務取扱要領	
		計(節)	21	500,271	500,271	0	0		
	目計		21	500,271	500,271	0	0		
	合計		286	10,718,888	10,125,744	0	593,144		

## (5) 寄付金

該当なし

## (6) 諸収入

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
雑収入	雑収入	電気代	2	16,082	16,082	0	0	公有財産事務取扱要領	自動販売機
			計(節)	2	16,082	16,082	0	0	
	目計		2	16,082	16,082	0	0		
	合計		2	16,082	16,082	0	0		

## (7) 現金の取扱状況

該当なし

13 税外収入未済額調べ

区分 収入科目 目	節	細節	過年度				年度分			現年度分			収入未済 額計(A +B)	未収理由
			前年度 以前から の繰越額	左のうち 収入済額	不納 欠損額	差引収入 未済額(A)	収入未済額の調定年度内訳		調定額	収入済額	収入 未済額 (B)			
							22年度 以前	23年度				24年度		
生産物 売払収 入		生産物 売払収入 生産物 売払収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	593,144	収入年月日 平成26年 1月15日	
													593,144	収入年月日 平成26年 1月16日
		計(節)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	593,144	収入年月日 平成26年 1月17日	
		目計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	593,144	収入年月日 平成26年 1月21日	
		合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	593,144		

14 未回収促進のための取り組み状況調べ 該当なし

15 税外収入不納欠損額調べ 該当なし

16 債務負担行為の状況調べ

(単位：円)

事業名	種別	設定状況		当該事業の 契約額等	執行(支出)状況					備考	
		議決	期間		限度額	設定年度 の執行額 A	債務負担行為の期間				合計 A+B
							24年度まで の執行額	25年度 執行額	26年度以降の 執行予定額		
中小家畜試験 場施設管理等 業務委託	委託料	平成22 年12月	平成23年度 ～ 平成25年度	1,842,000	0	1,226,400	613,200	0	1,839,600		
合 計				1,842,000	0	1,226,400	613,200	0	1,839,600		

17 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金 該当なし

(2) 補助金 該当なし

(2-2) 補助金(他課から予算の配当替えを受けて執行するもの)  
該当なし

(3) 交付金 該当なし

(4)委託料  
(現年)

(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証 金納付等 年月日)	完了			支出の状況			備考
				予定価格	契約期間 (契約年月日)	契約期間 (最終)		年月日	年月日	支出 区分	支出 年月日	金額		
													変更契約(最終) (契約年月日)	
中小家畜試験場費	単県	ダイオキシン類濃度 測定分析業務	(社)鳥取県保健 事業団	840,000 (H23.4.1) 837,900	H23.4.1 ~ H26.3.31	H23.3.29 (免除)	H25.12.19外 H25.12.19外	精算				H23~25 債務負担行為 年額 279,300		
中小家畜試験場費	単県	機械警備委託	大同警備保障 (有)	1,002,000 (H23.4.1) 1,001,700	H23.4.1 H26.3.31	H23.3.25 (免除)	H25.4.30外 H25.4.30外	精算			222,600	H23~25 債務負担行為 年額 333,900		
中小家畜試験場費	単県	焼却炉保守点検	インシナー商事 (株)	362,250 (H25.4.18) 362,250	H25.4.18 ~ H26.3.31	H25.4.5 (免除)	H25.6.15 H25.6.15	精算			362,250	製造メーカーで 特殊な技術が 必要なため		
中小家畜試験場費	単県	絹屋分場除草業務 (1回目)	(社)南部広域シ ルバー人材セン ター	255,360 (H25.7.2) 255,360	H25.7.2 ~ H25.7.31	H25.6.25 (免除)	H25.7.16 H25.7.16	精算			255,360			
中小家畜試験場費	単県	絹屋分場除草業務 (2回目)	(社)南部広域シ ルバー人材セン ター	255,360 (H25.10.16) 255,360	H25.10.16 ~ H25.10.31	H25.10.7 (免除)	H25.10.29 H25.10.29	精算			255,360			
中小家畜試験場費	単県	雑木伐採業務委託	山陰緑化(株)	546,000 (H25.6.3) 164,850	H25.6.3 ~ H25.7.31	H25.5.24 (免除)	H25.6.27 H25.6.27	精算			164,850	絹屋分場低圧 電線撤去委託 へ執行協議 325,000		
中小家畜試験場費	単県	絹屋分場低圧電線 撤去委託	日海工業(株)米 子営業所	325,000 (H25.8.5) 210,000	H25.8.5 ~ H25.8.30	H25.7.30 (免除)	H25.8.23 H25.8.23	精算			210,000	新規		
中小家畜試験場費	単県	産業廃棄物収集運 搬処理委託(医療 系・検査廃液)	アースサポート (株)	211,800 (H25.9.12) 115,130	H25.9.12 ~ H26.3.31	H25.8.30 (免除)	H25.10.31他 H25.10.31他	精算			40,685			
中小家畜試験場費	単県	井水送水管漏水調 査委託	(株)三徳興産	444,150 (H26.1.22) 217,350	H26.1.22 ~ H26.3.31	H26.1.15 (免除)		精算				新規		
予定価格が20万円 未満のもの											206,587			
目計											1,717,692			
合計											1,717,692			

(明許)

(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札 年月日 (契約保証 金納付等 年月日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況		備考
				予定価格	契約年月 日	契約期間			支出 区分	金額	
中小家畜試験場費	単	中小家畜試験場 非常用発電設備更 新工事に係る実施 設計委託		変更契約(最終) (契約年月日) 契約額 ( )	契約期間 ~					934,500	営繕課に配 当 替え
目計											
合計										0	

(4-2)委託料(他課から予算の配当替を受けて執行したもの)  
該当なし

18 工事請負費調べ

(単位:円)

予算科目 (目)	国補単県の別	工事名	当初契約			請負人	支出状況		実地完成 年月日	変更(解除)の理由・内容	備考
			(起工年月日) 設計額	(契約年月日) 契約額	工期		支出区分	年月日			
中小家畜試験場費	単県	中小家畜試験場非常用自家発電設備更新工事	( )	( )	~						課 に 配 当 に 替 え
目計											
合計											

18-2 工事請負費調べ(他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの) 該当なし

19 財産に関する調べ

(1)公有財産  
ア 土地

(平成25年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				差引		備考		
			面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減別	異動日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減理由	登記年月日		面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)
行政財産	中小家畜試験場本場敷地	南部町北方山ノ奥尻1216-1外	126,696.78	0	増加	H				H	126,640.78	0	西部総合事務所 県土整備局へ移管
	絹屋分場敷地	南部町絹屋門ナン108外	62,251.82	15,010,286	減少	H25.10.10	56	0	県道拡幅工事のため	S54.3.25	62,251.82	15,010,286	
計			188,948.60	15,010,286							188,892.60	15,010,286	
普通財産					増加	H				H			
計					減少	H				H			
合計			188,948.60	15,010,286							188,892.60	15,010,286	

イ 建物

(平成25年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						備考			
			面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減別	異動日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減理由	登記年月日		面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	
														増加
行政財産	本館	南部町北方	772.20	100,523,353	増加							772.20	100,523,353	
	ポンペ庫	南部町北方	6.80	448,071	増加							6.80	448,071	
	種雄豚舎	南部町北方	104.16	6,936,000	増加							104.16	6,936,000	
	雌豚試験舎	南部町北方	306.85	16,450,000	増加							306.85	16,450,000	
	分娩豚舎	南部町北方	226.40	13,251,000	増加							226.40	13,251,000	
	子豚試験舎	南部町北方	207.36	15,504,000	増加							207.36	15,504,000	
	第一肉豚試験舎	南部町北方	273.06	18,746,000	増加							273.06	18,746,000	
	第二肉豚試験舎	南部町北方	132.00	10,686,000	増加							132.00	10,686,000	
	と場	南部町北方	156.90	30,250,000	増加							156.90	30,250,000	
	解剖舎	南部町北方	20.00	1,623,000	増加							20.00	1,623,000	
	現場管理舎	南部町北方	70.00	4,888,000	減少							70.00	4,888,000	
	わら収納舎	南部町北方	50.00	2,142,000	増加							50.00	2,142,000	
	堆肥舎	南部町北方	102.00	3,717,000	増加							102.00	3,717,000	
	飼料庫	南部町北方	126.14	7,628,000	増加							126.14	7,628,000	
	本館車庫	南部町北方	35.75	1,452,000	増加							35.75	1,452,000	
	総合実験鶏舎	南部町北方	612.00	139,331,109	増加							612.00	139,331,109	
	育成試験舎	南部町北方	396.00	24,925,972	増加							396.00	24,925,972	
	衛生舎	南部町北方	24.00	2,988,903	増加							24.00	2,988,903	
	種鶏舎	南部町北方	209.00	16,618,573	増加							209.00	16,618,573	
	器具庫・車庫	南部町北方	100.00	9,986,732	増加							100.00	9,986,732	
鶏糞乾燥場	南部町北方	107.00	7,027,299	増加							107.00	7,027,299		
鶏糞乾燥場 ボイラー室	南部町北方	10.51	647,177	増加							10.51	647,177		

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				差引		備考	
			面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	異動日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m <sup>2</sup> )		価額(円)
	井戸ポンプ室	南部町原	11.68	1,401,554	H							
	給餌場	南部町北方	32.94	2,522,532	H	25.10.10	11.68	1,401,554	原道拡幅工事のため	H	S54.3.25	0
	自転車置場	南部町北方	5.60	627,014	H					H		2,522,532
	第二分娩舎	南部町北方	250.33		H					H		627,014
	同上採糞場	南部町北方	9.00	32,197,800	H					H		32,197,800
	分娩豚舎採糞場	南部町北方	9.00		H					H		
	堆肥処理施設	南部町北方	414.80	83,366,850	H					H		83,366,850
	種雌種雄舎採糞場	南部町北方	23.75		H					H		
	選抜検定豚舎	南部町北方	681.00	20,818,500	H					H		20,818,500
	バイテク棟	南部町北方	150.00	14,790,765	H					H		14,790,765
	離乳豚舎採糞場	南部町北方	9.00	887,446	H					H		887,446
	種豚豚舎採糞場	南部町北方	9.00	887,446	H					H		887,446
	肉豚試験採糞場	南部町北方	9.00	887,446	H					H		887,446
	種鶏舎1	南部町北方	115.50	15,747,375	H					H		15,747,375
	種鶏舎2	南部町北方	115.50	15,747,375	H					H		15,747,375
	送水施設(ポンプ小屋)	南部町原	6.73	4,235,700	H					H		4,235,700
	北方本場小計		5,900.96	629,887,992			△ 11.68	△ 1,401,554				628,486,438
	分娩豚舎	南部町絹屋	184.00	3,255,000	H					H		3,255,000
	育成豚舎	南部町絹屋	192.00	2,884,000	H					H		2,884,000
	種豚豚舎	南部町絹屋	63.75	844,500	H					H		844,500
	母猪群飼豚舎	南部町絹屋	201.87	1,959,500	H					H		1,959,500
	飼料庫	南部町絹屋	48.60	491,500	H					H		491,500
	管理室	南部町絹屋	67.72	1,762,000	H					H		1,762,000

行政財産



行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						差引		備考	
			面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減別	異動日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)		
														面積(m <sup>2</sup> )
行政財産	農機具格納庫	南部町絹屋	68.00	738,500	増加	H						68.00	738,500	
	コ口二一舎	南部町絹屋	168.00	1,176,000	増加	H						168.00	1,176,000	
	便所	南部町絹屋	4.97	198,000	減少	H						4.97	198,000	
	種雄豚舎	南部町絹屋	259.20	16,991,000	増加	H						259.20	16,991,000	
	検定豚舎	南部町絹屋	216.00	14,159,000	減少	H						216.00	14,159,000	
	育成選抜豚舎	南部町絹屋	522.00	39,280,000	増加	H						522.00	39,280,000	
	分娩豚舎	南部町絹屋	231.00	17,122,000	減少	H						231.00	17,122,000	
	種雌豚舎	南部町絹屋	238.60	13,484,898	増加	H						238.60	13,484,898	
	糞尿処理施設	南部町絹屋	270.00	15,965,000	減少	H						270.00	15,965,000	
	肥育豚舎	南部町絹屋	230.00	28,634,000	増加	H						230.00	28,634,000	
	実験室棟	南部町絹屋	59.80	18,849,000	増加	H						59.80	18,849,000	
	計	絹屋小計		177,793,898	0				0			3,025.51	177,793,898	
	普通財産			8,926.47	807,681,890	増加	H		△ 11.68	△ 1,401,554			8,914.79	806,280,336
計			0.00	0	減少	H		0.00	0			0.00	0	
合計			8,926.47	807,681,890				△ 11.68	△ 1,401,554			8,914.79	806,280,336	
ウ 山林														該当なし
エ 不動産売却														該当なし
オ 財産の交換														該当なし
カ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機)														該当なし
キ 物権														該当なし
ク 無体財産権(特許権、著作権、高標権、実用新案件等)														該当なし
ケ 有価証券														該当なし
コ 出資による権利														該当なし

(2) 金券類の受払状況  
ア 金券の受払状況

(平成25年12月31日現在)

種別	前年度末	本年度中		差引	備考
		購入額	使用額		
郵便切手及び郵便はがき	円 76,760	円 44,000	円 81,130	円 39,630	
収入印紙	0	0	0	0	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシークーポン券	0	0	0	0	
鉄道バスプリペイドカード	0	0	0	0	
図書カード	7,000	0	7,000	0	
合計	83,760	44,000	88,130	39,630	

イ タクシーチケットの受払状況

該当なし

(3) 基金

該当なし

(4) 債権

(平成25年12月31日現在)

債権の名称	前年度末現在高	本年度中		差引		備考
		増	減	金額	件数	
行政財産使用料	円 9,640	円 1,456	円 2,954	円 8,142	4	1件、県道拡幅工事で電柱指示支線撤去による
計	9,640	1,456	2,954	8,142	4	

20 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

行政・普通財産 の区分	貸付 (使用許可) 目的	所在地	数量 又は 面積	貸付 (使用許可) 年月日	当初貸付 (使用許可) 年月日	貸付 (使用許可) 期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の 貸付(使用)料	住氏	所名	
行政財産	電気通信設備設置	南部町絹屋	コンクリート柱 3本	H23.2.23	H8.4.4	H23.4.1 ~H28.3.31	月額・年額 540	540	鳥取市湯所町2-258 西日本電信電話(株) 鳥取支店		
	電気通信設備設置	南部町絹屋	支線1条	H23.8.29	H23.9.1	H23.9.1 ~H28.3.31	月額・年額 180	180	鳥取市湯所町2-258 西日本電信電話(株) 鳥取支店		
	電柱支持支 線設置	南部町絹屋 大深田	支線1条	H25.1.18	H25.1.18	H25.1.18 ~H29.3.31	月額・年額 1,870	1,870	米子市加茂町2-51 中国電力(株)米子営業 所		
	自動販売機 設置	南部町北方	1.44㎡	H25.4.1	H25.4.1	H25.4.1 ~H30.3.31	月額・年額 364	364	福岡県福岡市東区7丁 目9番66号 コカ・コーラ ウエスト(株)		
計								2,954			
普通財産							月額・年額				
計								0			
合計								2,954			

イ 建物 該当なし

(2) 物品 該当なし

21 借受不動産明細調べ 該当なし

22 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ  
 (1) 職員住宅 該当なし  
 (2) 職員駐車場 該当なし

ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	中小家畜試験場(西伯郡南部町北方633)	12.5	0
普通財産	該当なし		

イ 異動状況  
 (行政・普通財産)

月別	月初日	減		増		月末日	うち減免	調定額	収入済額	収入未済額
		人	うち減免	人	うち減免					
4月	19	人	人	人	人			円		
5月	19				19		0	0		
6月	19				19		0	0		
7月	19				19		0	0		
8月	19				19		0	0		
9月	19				19		0	0		
10月	19				19		0	0		
11月	19				19		0	0		
12月	19				19		0	0		
1月					0		0	0		
2月					0		0	0		
3月					0		0	0		
合計								円	0	0

23 自動車(二輪を除く)の管理状況調べ

車種	年式	登録番号	取得年月日	総走行 キロ数	本 年 度		修理費等	備 考
					稼働 日数	(1か月平均) 走行キロ数		
小型四輪貨物	H12	鳥取400さ25-17	H12.7.6	69,012 km	63 日	(538)km 4,838	円 210,786 (内訳) 180,126 25,620 5,040 車検 6ヶ月点検 夏タイヤ交換	
合計							210,786	

24 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

25 備品の処分状況調べ

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用年数	取得価格	不用決定 年月日	不用とする理由	売却・棄却 の別	処分			備考
								売却方法・棄却理由	処分 年月日	売却額・処分 費用	
(バーンジャー・雄11035)	1	H24.4.12	年 3	円 63,000	H25.5.8	膀胱破裂のため死亡	棄却	膀胱破裂のため死亡	H25.4.4	円 0	
(テュロック・雌9152)	1	H22.5.21	3	63,000	H25.4.3	繁殖不良のため	売却	委託販売	H25.4.4	19,382	
(テュロック・雌9298)	1	H22.5.21	3	63,000	H25.5.8	繁殖不良のため	売却	委託販売	H25.5.16	28,351	
(テュロック・雌9179)	1	H23.1.5	3	63,000	H25.5.8	繁殖不良のため	売却	委託販売	H25.5.16	22,305	
(テュロック・雌1391)	1	H24.6.29	3	63,000	H25.5.8	繁殖不良のため	売却	委託販売	H25.5.16	24,214	
(テュロック・雌9208)	1	H22.5.21	3	63,000	H25.5.8	繁殖不良のため	売却	委託販売	H25.5.23	16,337	
(テュロック・雌9107)	1	H22.5.21	3	63,000	H25.5.8	繁殖不良のため	売却	委託販売	H25.5.23	22,192	
(テュロック・雌9270)	1	H22.5.21	3	63,000	H25.5.17	繁殖不良のため	売却	委託販売	H25.5.23	20,265	
(バーンジャー・雄11090)	1	H24.4.12	3	63,000	H25.6.4	繁殖不良のため	売却	委託販売	H25.6.13	15,287	
(セントレス・雌8083)	1	H21.2.3	3	58,019	H25.6.4	繁殖不良のため	売却	委託販売	H25.6.13	22,642	
(大ヨシヤー・雌8625)	1	H21.9.25	3	63,000	H25.6.4	繁殖不良のため	売却	委託販売	H25.6.13	19,350	
(テュロック・雄1268)	1	H24.4.12	3	63,000	H25.6.20	繁殖不良のため	売却	農家販売	H25.6.21	33,600	
(バーンジャー・雄11121)	1	H24.4.12	3	63,000	H25.6.4	繁殖不良のため	売却	委託販売	H25.6.27	14,457	
(テュロック・雌9124)	1	H22.5.21	3	63,000	H25.6.4	繁殖不良のため	売却	委託販売	H25.6.27	19,366	
(大ヨシヤー・雌10166)	1	H23.4.28	3	63,000	H25.6.24	繁殖不良のため	売却	委託販売	H25.6.27	19,571	
(テュロック・雄1481)	1	H24.8.24	3	63,000	H25.6.24	繁殖不良のため	売却	委託販売	H25.7.26	17,355	
(テュロック・雌9230)	1	H22.5.21	3	63,000	H25.7.26	繁殖不良のため	売却	委託販売	H25.8.2	26,116	
(バーンジャー・雄2067)	1	H25.4.3	3	63,000	H25.8.27	繁殖不良のため	売却	委託販売	H25.9.6	8,441	
(セントレス・雌1399)	1	H24.6.29	3	63,000	H25.9.3	繁殖不良のため	売却	委託販売	H25.9.6	23,143	
(テュロック・雌9296)	1	H22.5.21	3	63,000	H25.8.27	繁殖不良のため	売却	委託販売	H25.9.20	31,143	
(テュロック・雌9444)	1	H22.5.21	3	63,000	H25.8.27	繁殖不良のため	売却	委託販売	H25.9.20	28,609	
(テュロック・雄9354)	1	H22.5.21	3	63,000	H25.11.18	肺炎のため死亡	棄却	肺炎のため死亡	H25.9.28	0	
(大ヨシヤー・雄485)	1	H23.4.7	3	231,000	H25.11.1	繁殖不良のため	売却	委託販売	H25.11.14	14,058	
(テュロック・雌9267)	1	H22.5.21	3	63,000	H25.11.1	繁殖不良のため	売却	委託販売	H25.11.14	27,592	
(テュロック・雌9413)	1	H22.5.21	3	63,000	H25.11.1	繁殖不良のため	売却	委託販売	H25.11.14	26,495	
エアコン(RA-2023)	1	H12.2.4	6	63,000	H25.12.2	経年劣化により作動 しないため	棄却	経年劣化により作動 しないため	H25.12.25	0	
合計	26			1,801,019						500,271	

26 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

該当なし

27 貸付金等状況調べ

該当なし

## 2.8 事業別予算執行状況調べ

目 名		中小家畜試験場費	(平成25年12月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)		
「鳥取地どりピヨ」の改良試験	6 主な事業に関する調べに記載 3 1 試験研究調査事業別実施状況調べに記載		
鳥取地どりピヨの遺伝資源保存技術の開発	3 1 試験研究調査事業別実施状況調べに記載		
光触媒技術等を活用した畜舎脱臭及び汚水処理試験	6 主な事業に関する調べに記載 3 1 試験研究調査事業別実施状況調べに記載		
低コスト畜舎臭気低減技術の開発	3 1 試験研究調査事業別実施状況調べに記載		
精液の保存性向上試験	3 1 試験研究調査事業別実施状況調べに記載		
鳥取県産オリジナル高品質豚開発試験	6 主な事業に関する調べに記載 3 1 試験研究調査事業別実施状況調べに記載		

目 名		畜産総務費	(平成25年12月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)		
畜産農家環境保全指導事業	(目的) 県内畜産農家の汚水及び臭気発生状況の調査 (実績) 調査件数： 汚水11件 臭気16件		

目 名		農業総務費	(平成25年12月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)		
農林水産試験場臨時的調査研究事業	<p>脂肪肝出血性症候群 (FLHS) の予測方法の検討</p> <p>(目的) 「鳥取シャモ」の雌の死亡原因に、脂肪肝出血性症候群 (Fatty liver and hemorrhage syndrome, FLHS) によるものが半数以上を占め、資源の損失となっている。肉眼的な肝臓の病変と、血液生化学的所見の関係を明らかにし、血液検査が生前診断に活用できるか検討した。</p> <p>(実績) 産卵期間途中で死亡する原因を調査したところ8割がFLHSであった。屠鶏前の解剖検査により高頻度にFLHSが発症していることが明らかとなった主要な肝臓の逸脱酵素であるGOT、GPT、LDHの数値の内、LDHは非発症・発症群の平均値の間に有意差 (<math>p &lt; .05</math>) が認められた。発症群は体重が高い傾向 (<math>p = .123</math>) にあった。しかし体重、GOT、GPT、LDHを変数とした判別式によるFLHSの予測・判定は困難であった。</p>		

## 2.9 農業機械の管理状況

(平成25年12月31日現在)

品名	型式及び規格	取得年月日	用途	稼働日数 日	燃料		修繕費等 円	左の主な内容 円	備考
					消費量 ℓ	金額 円			
自走式草刈機	オーレック ローラーハンマー ナイフロータ -HRC802B	H23. 8.12	除草	14	40	6,184			
トラクター	カボタ L1-R18	S57. 3.29	除草、除雪 等	10	18	2,520			
トラクター	カボタ KL43BMAP	H15. 9.12	除草、堆肥 運搬	11	89	11,925	15,603	点検・整備 15,603	
小型ローダー	小松SK05	H5. 10.29	堆肥切り返 し	21	36	4,896			
ホイールロー ダー	カボタ R430Z	H21. 7.17	堆肥切り返 し	131	145	19,600	44,478	特定自主検査 44,478	
動力運搬車	カワサキ 4WD-D	H16. 12.28	機材等の運 搬	116	62	9,666	68,807	点検・修理 20,927 モーター修理 47,880	
動力運搬車	カワサキ 4WD-DV	H7. 8.31	豚糞の運搬	124	68	10,636	45,864	点検・修理 45,864	
動力運搬車	カワサキ 4WD-DV	H7. 8.31	豚糞の運搬	94	68	10,630			
動力運搬車	(有)河島 農具製作 所 RX4WD	H24. 9.13	機材等の運 搬	63	40	6,248	7,539	点検・整備 7,539	
バッテリー式 運搬車	藤樹運搬 EY8-37G	H22 7.30	飼料の運搬	196	0	0			
計					ガソリン 278 軽油 288	ガソリン 43,364 軽油 38,941	182,291	182,291	

(平成25年12月31日現在)

## 30 生産物(品)に関する調べ

生産部門	品名種類	作付面積	生産計画数量	生産数量		場内使用	処分数量				分類	差引	備考			
				継続	生産購入		売却数量	売却金額	目的外使用数量	目的外使用金額				廃棄数量	計数量	計金額
養鶏	成鶏		羽 517	羽 購入110	羽 0	羽 0	羽 0	羽 0	羽 0	羽 571	羽 0	羽 650				
			羽 220	羽 12,785	羽 200	羽 835,130	羽 0	羽 0	羽 4,853	羽 12,211	羽 835,130	羽 594	羽 分類換は			
			個 3,541	個 21,674	個 12,701	個 0	個 0	個 0	個 0	個 9,778	個 2,736	個 0	成鶏へ			
小計						835,130										
養豚	精液		本 4,000	本 5,151	本 115	本 905,100	本 0	本 0	本 3,987	本 4,849	本 905,100	本 187				
	生産物		頭 900	頭 992	頭 0	頭 8,478,023	頭 811	頭 0	頭 へい死80	頭 891	頭 8,478,023	頭 387	頭 分類換は			
小計																
合計																



事業名	「鳥取地どりピヨ」の改良試験		担当室別	環境・養鶏研究室
実施計画期間	15年度 ～27年度		(予算額)	(6,918,000円)
			支出済額	4,740,554円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
I 鳥取県独自の地どり種鶏群(雄系)の改良を図る。	中小家畜試験場	交雑種 選抜分 700羽 高能力鶏 1羽(人工授精実施中)	魅力的で独自性があり、高位に安定した品質を持つ血統を作出する。  (2) 単冠の発現 M9一次選抜分: 検査羽数700羽中6羽 (単冠発現率: 1.8→0.9%) M9二次選抜分: 選抜羽数268羽中0羽  (3) 98日齢成績(平均体重) M8選抜分: 雄2,572g/羽(-30.9g) 雌1,839g/羽(-92.5g) 昨年度参考 M9選抜分: 雄2,821g/羽(+249g) 雌2,049g/羽(+210g) 本年度 注) ()内数字は、前の世代の平均体重との差	(試験結果) (1) M9世代の孵化 M9選抜分: 700羽(H25.6.25孵化) M10高能力鶏: 1羽(H26.3.5孵化予定) 注) M9選抜分: 選抜、及び次世代作出用 M10高能力鶏: ひな生産供給用、制限給餌を実施予定  (成果) 6 主な事業に関する調べに記載 (課題) 6 主な事業に関する調べに記載
II ピヨの旨み(アラキドン酸)開発をする。	中小家畜試験場	交雑種 50羽  ピヨ 110羽 プロイラー 50羽	商品の差別化を図るため地どり肉の旨み開発を行う。 1) 育種試験 2) 去勢試験 3) プロイラー比較試験	(試験結果) 1) 筋肉中のアラキドン酸の脂肪酸組成は、現在分析中。 2) 今回の飼育条件で、アラキドン酸組成に対する性は影響しない。 3) 分析中 (成果) 6 主な事業に関する調べに記載 (課題) 6 主な事業に関する調べに記載
III ピヨのヒナを生産し、農家へ安定的に供給する。	中小家畜試験場	種鶏(母鶏) ・H25.4導入 161羽 ・H25.12導入 60羽	ヒナ供給:年間 12,530羽	(試験結果) 疾病予防策を徹底し、罹患鶏の早期発見・早期ケアに努め死亡率の低減を図った。 (成果) 6 主な事業に関する調べに記載 (課題) 6 主な事業に関する調べに記載

事業名	鳥取地どりピヨの遺伝資源保存技術の開発		担当室別	環境・養鶏研究室
実施計画期間	25年度 ～27年度		(予算額) 支出済額	(937,000円) 335,261円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
伝染病発生等の危機管理対策として、(1)地どり精液凍結保存技術の開発 (2)種卵の超長期保存技術の開発を行い、場外での地どり遺伝資源保存技術の確立を目指す。	中小家畜試験場	交雑種鶏 (GSR) 100羽	1. 既報告の凍結手技を用い、GSR精子の耐凍能を調査する。 2. 各種条件下における長期保存種卵の孵化率を調査する。	凍結精液保存技術の開発 試験雄鶏が6月25日に発生しており、精子の凍結に最適な週齢といわれている35週齢以降に試験を開始する予定としているため、26年2月下旬以降の取り組みとなる。 (成果) 超長期貯卵技術の開発 貯卵温度を10℃および15℃に設定し、6週間以上貯卵した種卵を孵卵器に入れたところ、次のような結果が得られた。 10℃保存したもの 入卵個数 28 孵卵数3 孵卵率10.7 % 15℃保存したもの 入卵個数 28 孵卵数0 孵卵率 0 % (課題) 他条件も勘案しながら、さらなる孵化率の向上を目指す。

事業名	低コスト畜舎臭気低減技術の開発		担当室別	環境・養鶏研究室
実施計画期間	25年度 ～27年度		(予算額) 支出済額	(700,000円) 202,277円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
畜舎臭気は捕集が困難であり、堆肥化施設等で用いられる吸引送風機を使用した脱臭装置では、施設費、運転費が掛かりすぎるため適応が困難である。そこで、畜舎周囲の簡易な施設による臭気低減技術を開発する。	中小家畜試験場 離乳豚舎	子豚 200頭規模	ネット・水噴霧・換気扇等を用いた脱臭効果の検討とその運転・管理方法の開発	(成果) 畜舎換気扇の周囲に2重にネットを張り、そこに水噴霧することにより、畜舎臭気的主要成分であるアンモニアを80%以上除去出来た。また、換気扇前の臭気指数値23をネット通過後16にまで低減出来た。 換気扇5m先地点では臭気指数値10未満となり、臭気はほとんど感じられなかった。 現在3重にネットを張り試験を実施しているが、より臭気低減効果が認められた。 (課題) さらに脱臭効果の高い施設の運転・管理方法の検討を行う。

事業名	光触媒技術等を活用した畜舎脱臭及び汚水処理試験		担当室別	環境・養鶏研究室
実施計画期間	23年度 ～25年度		(予算額) 支出済額	(783,000円) 375,359円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
畜舎から発生する悪臭の除去及び簡易汚水処理施設から排出される処理汚水中のCOD、色度を低減させるため、光触媒等を活用した脱臭技術及び汚水処理技術を開発する。	中小家畜試験場  現地実証	豚汚水 1.5m <sup>3</sup> /日	黒ぼく土、籾殻燻炭を利用した汚水処理技術の開発。	(成果) 6 主な事業に関する調べに記載
				(課題) 6 主な事業に関する調べに記載

事業名	精液の保存性向上試験		担当室別	養豚研究室
実施計画期間	24年度 ～26年度		(予算額) 支出済額	(18,297,000円) 8,069,376円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
(単) 1. 液状精液の保存性向上及び凍結精液の解凍方法の改善を行い、農家での精液利用向上を図る。 2. 維持及び生産管理している系統豚「大山赤ぶた(デュロック種)」等の種雄豚の液状精液を供給することにより、農家の生産性の向上及び利益の増大を図る。	当場 養豚農家 生産現場	雄21頭 精液3,500本	・夏場の豚液状精液の輸送方法を検討し、精液の保存性向上を図る。 ・夏場に種雄豚へ添加剤(L-カルニチン)を給与する事による精液活性の向上を図る。	(成果) 1) 夏場の輸送を想定し、精液を輸送箱へ入れ30℃・24時間保管後、15℃で保管した結果、精液の温度は外部の温度上昇に伴い上昇した。しかし、精液性状は15℃保存と比較して大きな差は見られなかった。 2) 夏場に種雄豚へ添加剤(L-カルニチン)を給与した結果、精液活性が向上する事は見られなかったが、若い豚で精液活性の低下が見られなかった事から、安定的に精液供給が可能である事が示唆された。
				(課題) 1) 夏場の豚液状精液の輸送箱内の温度制御方法を検討し、精液の温度上昇を防ぐ。 2) 農家実証試験を実施する。

事業名	鳥取県産オリジナル高品質豚開発試験		担当室別	養豚研究室
実施計画期間	22年度 ～25年度		(予算額) 支出済額	(12,135,000円) 7,225,734円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
高品質でオリジナル性の高い鳥取県独自の特産豚「大山ルビー」(DB)を開発し、養豚農家の所得向上を図る。	当场 養豚農家生産現場	黒豚(バークシャー種) 雌豚20頭	6 主な事業に関する調べに記載	(成果) 6 主な事業に関する調べに記載
		黒豚(バークシャー種) 交配精液 6種雄豚  肥育試験豚 120頭		(課題) 6 主な事業に関する調べに記載

○ 意見、要望等

(1)業務に関する要望等

特になし

(2)監査委員事務局に対する意見・要望等

特になし

